

## よくある質問（小児用）

### 歯肉炎に対する処置

Q 1 歯肉からの出血は、悪い血だから出したほうがよいというのは本当ですか？

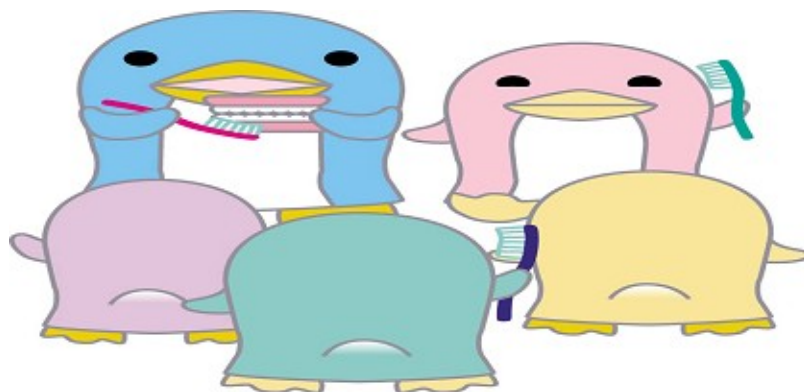
A 1 歯肉炎の改善には、炎症も原因である不潔性を解決するために出血を恐れずにブラッシングを行うことがもっとも効果的です。その出血を、細菌プラーク、そして歯肉溝滲出液などを含んだ、“不潔な血 悪い血”と考えれば“出したほうがよい”という表現は正しいと言えます。

Q 2 歯肉の一部が歯の根のあたりでふくれるのは病気ですか？

A 2 う蝕や打撲などの外傷による歯髄懐疽、もしくは懐死によって根尖病巣が生じ、歯肉膿瘍が形成されている根尖性歯周炎の場合がほとんどです。歯肉に発生した良性腫瘍も考えられますが、よく観察してみると容易に鑑別できます。

Q 3 口臭と歯肉炎は関係がありますか？

A 3 口臭は、口腔内に残留した食物残渣が口腔細菌に代謝されることによって生じると考えています。不潔な状態の歯肉炎では口臭を伴うことが多く、清潔を維持し、歯肉炎が改善されると解消します。





Q 4 永久歯が生えるとき、いつまでも歯の上に歯肉が残っていても大丈夫でしょうか？

A 4 白歯の遠心側に歯肉弁として歯肉が残っていることが多く、ほとんどの場合は萌出が進むにつれて自然消失します。しかしながら、疼痛や腫脹などの症状が強く生じている際には、電気メスなどを用いて切除したほうがよいでしょう。

Q 5 乱暴な歯磨きでアフタができますか？

A 5 アフタは、咬傷や硬い食物の刺激などの成因になると言われていますから、乱暴な歯磨きで口腔粘膜が傷つけばできます。

Q 6 アフタは胃が荒れているからと言いますが本当ですか？

A 6 よく耳にする説明ですが、胃酸過多の状態であるときには、胃酸の逆流作用によってアフタを生じることがありますので、口内炎は胃が荒れているから、というのは本当です。しかし、それ以外の原因のほうが多いようです。

